

パレット保育園・たまプラーザ

2025年度自己評価表

評価日: 2026 年2月27日

2023.07.24第三版

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育方針の共通理解と 全体的な計画等の作成	1	保育の理念や基本方針が子どもを尊重したの になっており、全職員が理解し、実践しているか	A	園内に保育理念・保育方針・スタッフの使命を掲示している。 年度初めの職員会議や研修時に読み合わせや確認をし、周知徹底している。
	2	全体的な計画は基本方針に基づき、子どもの最 善の利益を第一にして作成されているか	A	前年度の見直しをし、職員会議で読み合わせをし、作成している。
	3	日常の保育を通して子どもの意見や意思をくみ取 る努力をし、指導計画に反映させているか	A	子どもの成長を考慮し、計画を柔軟に見直している。言葉で表現できない子 どもの場合などは、気持ちを代弁しながら意思を確認したり安心感が持てる ようにしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・ICTを活用しており、全クラスの園児の姿を全スタッフで把握、共有することに繋がっている。 ・話し合いの時間を作り担任間で意見交換を行いながら指導計画を立案している。 ・年度初めにハンドブックの読み合わせをしている。 ・保育理念、保育方針はホームページやしおりにも記載している。			
【課題・対策】 ・非常勤スタッフが増えてきているため、非常勤スタッフを含めた情報共有の仕方について工夫していく。 ・保育理念や保育方針の確認を年度初めに行っているが、定期的に行えるようにしていく。 ・長時間保育を利用している園児の様子を担当以外の職員とも都度共有できるようにしていく。				
子どもの発達や 状況に応じた 適切な援助の実施	4	入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題 を把握しているか	A	入園児に個人面談を実施し、担任が把握する。重要事項は全職員で共有する。
	5	新入園児受け入れ時の配慮を十分しているか	A	園児の状況に応じ、1週間程度の慣らし保育をおこなう。保護者との情報共 有・交換のために保護者用アプリ『コドモン』の連絡ノート機能でコミュニケー ションを図っている。
	6	子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成して いるか	A	クラス担任が中心となり、作成し、振り返り・反省を元に見直しを行っている。 保護者の意向も可能な限り反映している。
【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・1歳児クラスを2つのグループに分け成長発達に合わせた活動を行っている。 ・外国籍の保護者には翻訳機を使用するなど工夫して対応している。 ・土曜保育利用の子の情報は細かく記載したものを作成し、確認しやすいように工夫している。 ・園内mtgや昼礼などで園児の情報共有を行っている。				
【課題・対策】 ・外国籍の園児を受け入れる際、翻訳機だけではなく、青葉区のボランティアなどより良いコミュニケーションの構築をしていく。 ・不安を抱えている新入園児の保護者に対して、必要に応じて面談や子どもの様子を伝える時間を設けられるようにしていく。				
快適な施設環境の確保	7	子どもが快適に過ごせるような環境への配慮がな されているか	A	各部屋に温湿度計を設置し、チェックをする。毎日清掃・消毒をおこない、清 潔を保つようにしている。
	8	子どもの発達に応じた環境が確保されているか	A	食事や午睡の空間を作っている。異年齢交流、自由保育、コーナー保育など を取り入れている。
【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・定期的に各部屋にコーナー遊びを設定し、子どもが好きな遊びを選んでいる。 ・安全確保のため、棚の上には滑り止めシート、角にはぶつかり防止クッションを使用している。 ・目隠しや仕切りを活用し、玩具の収納としてだけでなく遊びの展開にも繋げられるよう工夫している。 ・掃除表を活用し掃除や洗濯の管理を行い抜けがないよう工夫している。				
【課題・対策】 ・複数のクラスで部屋を使用しているため、各クラスで年齢・発達に合った活動が行えるよう、部屋の使い方、環境の工夫を都度話し合っていく。 ・0歳児、1歳児クラスでもコーナー遊びなど自由遊びの時間で工夫できる場所を探していく。 ・玩具消毒を行う人が偏らないよう、ルーレットを作成して分担して行えるよう工夫していく。				
一人一人の子どもに 個別に対応する 努力	9	子ども一人一人の状況に応じた保育目標を設定 し、それに合わせた個別指導計画を作成しているか	A	0~2歳児は一人ひとりの状況に応じた個人別の月案を作成している。
	10	子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、 その記録があるか	A	成長発達記録・園児健康診断記録表・健康カルテ等、必要書類をコドモン内 に記録をし、全職員で情報共有をしている。
【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・複数担任は話し合いを設けて個人月案を作成している。 ・幼児クラスでは個人記録に記録を残し引き継ぎを行っている。 ・1歳児クラスを2グループに分け個別に対応しやすくしたり、職員間で協力をして一対一の時間を作り情緒の安定を図っている。				
【課題・対策】 ・子どもの人数が増えると個別の対応が難しい場面があるため、スタッフ間で連携して対応していく。 ・全スタッフが目を通せるよう個人記録など作成はしているが、フリーのスタッフなども話し合いの場に参加して一緒に考える時間を設けられる ようにしている。				

パレット保育園・たまプラーザ

2025年度自己評価表

評価日：2026 年2月27日

2023.07.24第三版

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み	11	特に配慮を要する子どもを受け入れた場合、保育する上で、必要な情報が共有化されているか	A	ミーティング時に情報共有をし、対応を話し合っている。外部の専門機関の研修に参加し、その内容も共有をしている
	12	虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか	A	毎日の受け入れ時に視診・触診を丁寧にしている。送り迎え時の会話などからも早期発見に努めている。独自の児童虐待マニュアルを配備しており、全職員で研修をしている。
	13	アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができていますか	A	独自のアレルギー対応マニュアルを配備し、全職員で研修をしている。マニュアルに沿って、書類、環境、備品を整え、誰でもわかるよう対応をしている。
<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギー児に対して食事の際、担任と給食スタッフと献立のダブルチェックを行い、座席を固定している。 ・希望をすすると臨床心理士の訪問指導を受けられる体制が整っている。 ・外国籍や日本語を言語としない保護者に対して翻訳機を使用し対応するなど工夫している。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギー児は除去食で対応しているが、除去食の対応が難しい献立の日は保護者に代替食の持参をお願いしている。保護者の負担を減らせるように給食チームとmtgなどを行っていきとよい。 ・虐待を早期発見をした時の対応の仕方や、専門機関への繋ぎ方の明確な動きの周知を、研修などを受けて体制を整えていく。 				
苦情解決体制	14	保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか、また迅速に対応できる仕組みになっているか	A	苦情処理規程にそって、園内に苦情受付体制の掲示をしている。園だけではなく、第三者委員、公的機関にも要望や苦情を伝えられる仕組みになっている。普段の要望はコモン内の連絡ノート機能や行事アンケートでも伝えることができる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・行事ごとにアンケートの配信、園のしおりに苦情相談窓口を記載している。 ・年2回運営委員会を開催し、保護者の意見や要望をいただく場を設けている。 ・玄関に意見箱を設置している。 ・保護者の意見や要望は運営本部とも共有し、迅速に対応できる仕組みが整っている。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見箱を設置しているが、認知度が低いと感じるため、運営委員会や進級説明会などで保護者に周知していく。 ・幼児クラスでは毎日の連絡ノートがなく、シフトの時間帯により会えない保護者がいるが、必要に応じて連絡ノートを活用したり、シフトを変更するなど可能な限り対応していく。 			
保育内容(あそび)	15	子どもが主体的に活動できる環境構成ができていますか	B	年齢や発達に応じたおもちゃをそろえている。自由遊びの時間はコーナー保育ができるよう工夫をしている。
	16	遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか	A	朝・夕は子どもたちが自由に遊べるように時間を設けている。
	17	動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか	A	おいも掘りをおこなっている。野菜・花の栽培やカブトムシを育てたりしている。
	18	子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか	A	独自の能力開発プログラムの中に、絵描き歌、運動プログラム、文字や数字に興味をもてるテキストを準備している。またそれを毎日の保育に取り入れている。
	19	遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか	A	朝、夕の合同保育の時間だけでなく、異年齢保育をおこなっている。園児同士の関わりだけでなく、職員が仲立ちをしながら会話や関わりを持って保育をしている。
<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通してリトミックを積極的に取り入れ、全身を使って表現したり、豊かな表現を育てている。 ・計画的にコーナー遊びの時間を設け様々な職員や異年齢の友達と関わりながら、主体的に遊びを楽しめるようにしている。 ・ドキュメンテーションを活用し、子どもたちが興味、関心を持っている玩具を保護者へ発信している。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・0歳児、1歳児クラスでも後半期に自分で玩具を取り出せる環境を作ったり、子どもの様子に合わせて玩具遊びの幅を広げられるよう環境の見直しを検討していく。 				
保育内容(生活)	20	食事を豊かに楽しむ工夫をしているか	A	個々の食事量に配慮しながら、完食の喜びを味わえるような調理方法や配膳方法を工夫している。職員も指導食を食べながら、食材についての話をしたりと楽しい雰囲気の中で食事ができるように声かけをしている。
	21	食事の場、食材、食器等に配慮しているか	A	献立は、季節の移り変わりに合わせ、旬の食材を使用し、行事メニューや物語メニュー郷土料理メニューなどを取り入れている。食器・食具は年齢に合ったものを使用している。
	22	子どもの喫食状況を把握して、献立の作成、調理の工夫に活かしているか。	A	給食スタッフは子どもたちの喫食状況を見て、残食状況もチェック・記録し、献立作成に反映させている。2週間ごとの繰り返しメニューにすることにより、切り方、味付けの工夫を改善できる。
	23	午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。	A	乳児はコモン内の睡眠チェック表を使用し、睡眠時の体調をチェックしている。年長児は秋以降から午睡時間を減らしていくが、個々の状況で対応している。室温や採光の調節をし、心地よい眠りにつけるよう配慮している。
	24	排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。	A	各家庭と連携を取りながら、無理のないように進めている。トイレがリラックスしける場所になるよう環境面の工夫をしている。
<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して食育の計画を立てているが子どもの様子や姿に合わせて給食スタッフと話し合いながら、食に興味関心を深められるようにしている。 ・ミーティングで各クラスの喫食状況の報告の共有を行ったり、食材の形状なども給食スタッフと話し合いながら進めている。 ・アレルギー等に配慮しているが、郷土料理や物語メニューにちなんだメニューなど献立が工夫されている。 ・午睡時はオルゴールを流したり採光を調節して環境を整えている。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食スタッフとミーティングなどで喫食状況などは共有しているが、巡回が十分に行えていないため定期的に巡回を行い調理の工夫に活かしていく。 ・午睡時入眠しない幼児クラスの児童の対応と環境を検討していく。 				

パレット保育園・たまプラーザ

2025年度自己評価表

評価日: 2026 年2月27日

2023.07.24第三版

項目	番号	内容	評価	実施していること
健康管理	25	子どもの健康管理は、適切に実施されているか。	A	園児健康診断記録表や健康カルテに、個々の健診・測定の結果を記録している。既往症・アレルギー等については全職員で情報共有して対応している。
	26	感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。	A	独自の感染症マニュアルがあり、保護者にご協力いただく部分は園のしおりに記載をしている。
		<ul style="list-style-type: none"> ・感染症が確認された時は園内掲示とコードモン配信で保護者に周知している。 ・予防接種を受けたら園に報告していただき共有している。 ・感染症の種類により、消毒を変え徹底している。 ・登園前にコードモンで検温等を送信してもらい、その日の体調等を受け入れる前に確認できるようにしている。 		
		【課題・対策】 <ul style="list-style-type: none"> ・保育園が集団生活の場であり感染症のリスクが高いことを十分に理解していない保護者に対して情報を適切に発信し、理解を深めていただけるようにしていく。 ・登園確認書や許可書の記入が必要な感染症でも忘れて登園してしまう保護者がいるため、説明会などで都度伝え記入忘れがないよう徹底していく。 		
衛生管理	27	衛生管理が適切に行われているか。	A	保育室・トイレ・厨房を毎日清掃し、掃除チェック表を用いて管理している。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 <ul style="list-style-type: none"> ・玩具消毒はブラカードを使用して消毒しているのが未消毒なのか判断できるよう工夫している。 ・流行している感染症に応じてアルコール消毒と次亜塩素酸ナトリウムを使い分けている。 ・ドアノブや手すりなどよく触れる場所の消毒も時間を決めて行っている。 【課題・対策】 <ul style="list-style-type: none"> ・建物の構造上定期的な換気が難しいと感じるため、扇風機やサーキュレーター等を用いて工夫していく。 		
安全管理	28	安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。	A	毎月1回の避難訓練を通し、職員間でも常に迅速に対応できるよう話し合っている。全スタッフが救命救急研修を受講している。コードモンによる緊急メールおよび緊急掲示板で保護者への連絡がスムーズにできるよう配慮している。
	29	事故やけがの発生時及び事後の対応体制が確立しているか。	A	事故の振り返りシートを作成し、再発防止を園内で話し合い、実行している。近隣医療機関をまとめた一覧を作成し、迅速に対応できるようにしている。
	30	外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。	A	玄関はオートロックになっており、在園児の保護者のみにカードキーを付与している。来客やカードキーを忘れた場合は名前・顔確認後に施錠解除している。警備会社への通報システムがある。不審者対応訓練を年1回おこなっている。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 <ul style="list-style-type: none"> ・年度初めの研修で実際に第二避難場所、第三避難場所まで行き経路の安全性や問題点の確認をしている。 ・戸外先や園内で不審者を見つけた時の合言葉を設定している。 ・園内だけでなく、たまプラーザテラスの避難訓練にも年2回参加している。 ・消防署の方にご協力をいただき、AEDを使用した救命救急対応訓練を行っている。 【課題・対策】 <ul style="list-style-type: none"> ・玄関のオートロックに不備が見られることがあるため、定期的に点検をしていく。 ・実際に大規模災害が起きた時のことを想定して、広域避難場所までの移動も年間計画に入れていく。 ・緊急連絡先の連絡をしてもすぐにつながらないことや、折り返しの連絡が来ないことがあるため、必ずすぐにつながる番号の周知、徹底をしていく。 ・送迎時に保護者ではない方が保護者と一緒に関門に入ってしまうことがあり防犯上危険なため、説明会などで保護者へ周知していく。 		
人権の尊重	31	保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。	A	否定語を使わないよう職員間で話し合ったり、研修などで言葉づかいを振り返ったりしている。子どもの名前は呼び捨てにしない。
	32	必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。	A	仕切りを使うことでプライバシーを確保したり、好きな遊びや一人になれるコーナーを設置している。
	33	個人情報の取り扱いや守秘義務について職員に周知しているか。	A	守秘義務については全職員が入社時に説明・研修を受け、誓約書を提出している。保護者にも個人情報の取り扱いについて同意書をいただいている。個人情報は鍵のかかる書庫で管理している。
	34	性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。	A	発表会での役決めなどは子どもたちと話し合って決めている。父の日、母の日は感謝の日とし、父・母で分けることはしない。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 <ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護のチェックシートを用いて自身の保育を振り返る機会を設けている。 ・水着や水遊びの活動の写真はプライバシーの観点から行っていない。 ・オムツ替えじや着替え時など目隠しを使用してプライバシーを守るよう、用途に合わせた様々な手作りの仕切りがある。 【課題・対策】 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもと保育者のお互いを守るために、保育者と子どもが1対1の空間にならないように人員配置を行っていく。 ・送迎時に園内で撮影をしている保護者が見受けられるため、個人情報の扱いなど説明会などでお伝えしご理解いただけるようにしていく。 		
保護者との交流・連携	35	個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行い、情報共有や相談対応をしているか。	A	送迎時に様子を伝えるだけでなく、年1~2回個人面談をおこなっている。またそれ以外でも相談があった際には個別に対応している。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 <ul style="list-style-type: none"> ・コードモンで定期的に子どもたちの様子が伝わるような内容のものを写真を添付して保護者へ送っている。 ・各クラスコミュニケーションを作成することで日常の様子を伝えたり、子どもたちの様子を情報発信をしている。 ・親子レクリエーションや保育参観等で、園での様子や活動を実際に保護者の方に見ていただいている。 ・トランプの際は双方へ伝え発達の理解や子どもの姿の共有をしている。 ・園側から相談したい内容であっても保護者が忙しかったり都合が合わず面談にいたらないことがあるため、早番遅番のスタッフで連携をとり、保護者との情報共有やコミュニケーションを深めていく。 ・シフトが固定のため、時間帯によっては勤務時間内に保護者と顔を合わせることが難しい場合がある。シフト変更などして対応できるように工夫していく。 			

パレット保育園・たまプラーザ

2025年度自己評価表

評価日：2026 年2月27日

2023.07.24第三版

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育所の専門性を活かした相談機能	36	地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。	A	育児相談日(要予約)を設け、対応している。夏祭り等は園を開放し、地域住民の方も気軽に園を見ることができるようになっている。
		<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期的に見学会や地域交流を開催し、保育園生活を実際に見ていただき活動内容を体験していただけるような機会を設けている。 地域の子育てイベント「Aonicoひろば」に参加し地域の方と交流している。 毎月ホームページを更新し園の情報を公開している。また、見学申し込みもホームページから行える仕組みにしている。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 園見学や地域交流などは時期により問い合わせや予約状況に差があるため、申し込み期間終了後もより多くの方に利用していただけるようホームページやポスター等を活用して工夫していく。 		
保育所の地域開放	37	子どもと地域との日常的な交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。	A	近隣園と交流をしたり、地域のイベントやお祭りに参加している。お散歩時には地域の方に積極的に挨拶をし、交流するようにしている。
	38	利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。	A	定期的に見学日程を設け、対応している。また都合がつかない方には個々の希望日に対応している。ホームページにも詳細を記載し、メールでの問い合わせも可能としている。
		<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏まつりではテラスの噴水広場で幼児クラスが盆踊りを行い、地域の方に保育園の存在を知ってもらう機会を設けている。地域交流での施設解放や見学を行っている。 パレット保育園の姉妹園や近隣の保育園と年間を通して計画を立て交流をしている。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年長児は姉妹園や近隣園との交流に参加しているが、その他の学年も交流を増やせるように計画していく。 見学に来られた方からアンケートを元に内容を反映していけるとよい。 		
実習生・ボランティアの受け入れ	39	実習生・ボランティアの受け入れを適切に行っているか。	A	希望があった場合、できる限り受け入れをしている。受け入れ時には施設長が園の方針や注意事項等をしっかりと伝え、参加してもらっている。
		<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実習生やボランティアを受け入れる際は、事前にオリエンテーションを行い打ち合わせをしている。 実習生の希望に応じてクラス配置をしたり、毎日振り返りの時間を設けたりしている。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実習生やボランティアの受け入れを行っているが、不定期で間隔が空いてしまうため、定期的に受け入れられるように体制を整えていく。また、期間が空いてしまうと指導方法が曖昧になってしまうため、職員間で意見交換を行い確認していく。 		
職場の人材育成	40	保育園の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。	A	募集媒体・ホームページ・面接時にパレット保育園の理念や方針が伝わるように説明している。また入社後も内部・外部問わず研修に参加している。
	41	職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。	A	法人本部のさまざまな研修や外部研修を利用し、一人一人にあった育成計画にそって受講している。研修を受講した職員は研修報告書を作成し、内部研修にて他の職員と共有している。
		<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間を通して土曜日出勤日を設け、研修を行い保育の質の向上につなげている。 新入社員の育成担当を決め、ウェルカムチェックシートや育成計画シートを活用している。 年度初めに目標設定と自己評価を行い、その表を元に施設長と面談をしている。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 非常勤スタッフへの研修の機会が少ないため、内容によっては共有できるようにしていく。 		
職員の技術の向上	42	保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実践を評価し、改善に努める仕組みがあるか。	A	園内会議だけでなく、クラスや部屋の会議などを利用して、振り返りをおこない、計画作成に反映させている。
	43	保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価を行っているか。	A	年1回、自己評価シートを使い、会議などで振り返りをおこない、チェックをする。課題を見つけ、改善策などを意見交換している。また第三者評価も受審し、客観的な振り返りもおこなっている。
		<ul style="list-style-type: none"> 月に一度クラス会議、乳児会議、幼児会議を実施している。 年度初めに、自己目標を決めそれを元に自己評価、施設長面談を行っている。 職員間で自己目標を伝え合う場を設け共有している。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人で目標を立てるだけではなく、定期的に共有していくことでお互いにサポートしながら目標達成を目指せるようにしていく。 		
経営管理	44	事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。	A	法人本部にて最新情報を入手し、共有をしている。職員採用時には法人本部にて初期研修をおこない、個人情報の遵守、倫理について学んでいる。
		<ul style="list-style-type: none"> 年度初めにハンドブックの読み合わせを行っている。 G-NEWSの回覧等で情報共有を行っている。 運営要項の内容を全スタッフが確認し共有している。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ハンドブックの読み合わせは4月に行っているが、定期的な読み合わせや、日常業務の中で、気付いたことを会議等で議題として話し合っていく。 		

パレット保育園・たまプラーザ

2025年度自己評価表

評価日: 2026 年2月27日

2023.07.24第三版

項目	番号	内容	評価	実施していること
園目標や自己評価結果に対する反省・課題 (事業報告書へ)				<ul style="list-style-type: none">・遊び込める環境チーム、地域交流チーム、研修にの分かれて活動や研修を行い、遊び込める環境ではこのチームが主となり、定期的に玩具の見直しやコーナー遊びなどを行った。・限られた時間の中で優先順位を考えながら業務を行っているが、日常の中で時間を有効的に使い保育環境の見直しや業務改善について話し合う時間を確保できるように体制を整えられるとよい。・今年度1歳児クラスは4月の時点で2つのグループに分かれ、新体制を取り手探りの中でも日々の保育の振り返りや乳児会議を通して保育運営に反映できるようにしてきたが、話し合いの時間を毎日設けられると尚良い。・外部への発信という点ではまだ足りない部分もあるので、園内だけではなく地域に目を向けた取り組みや、地域とつながれるような取り組みを今後考えていけるとよい。